

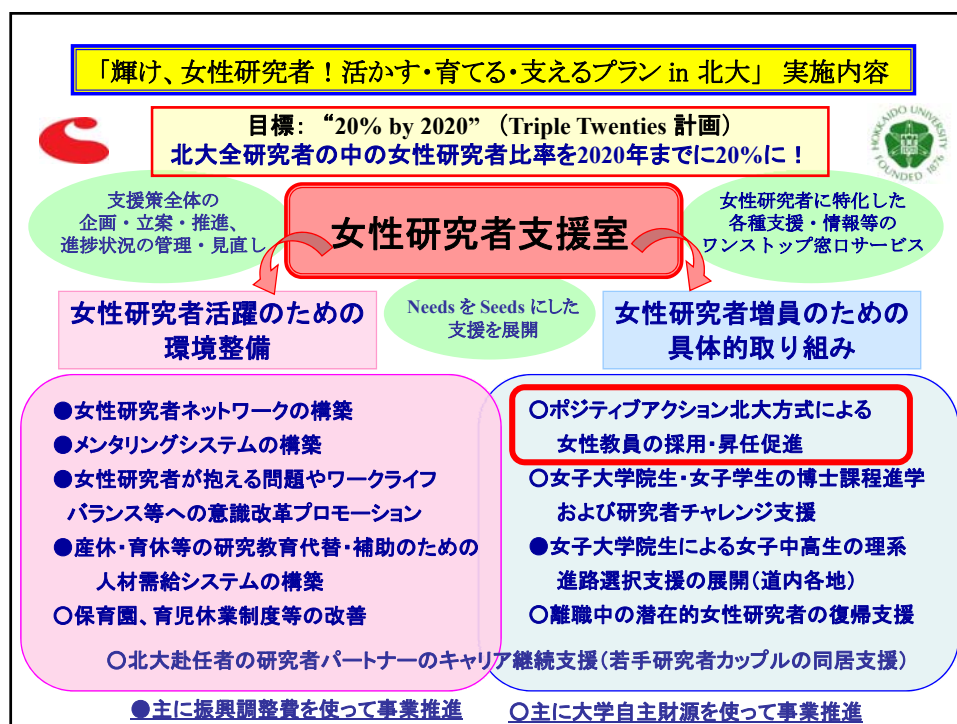
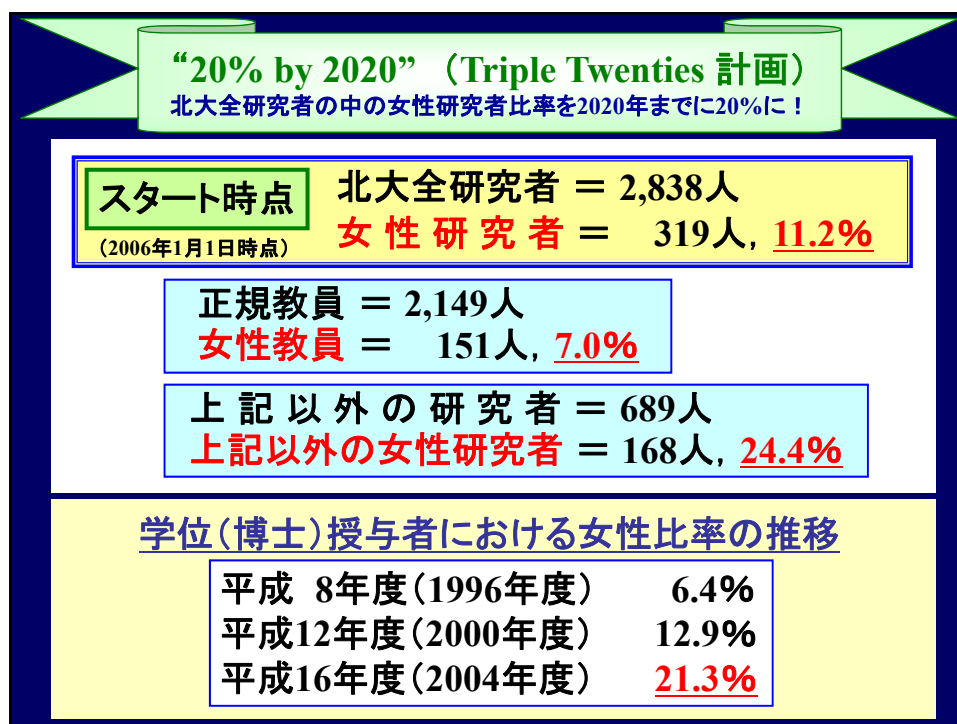
ワークライフバランスとプロ意識
 —女性研究者支援の推進・展開過程で見えてきたこと—

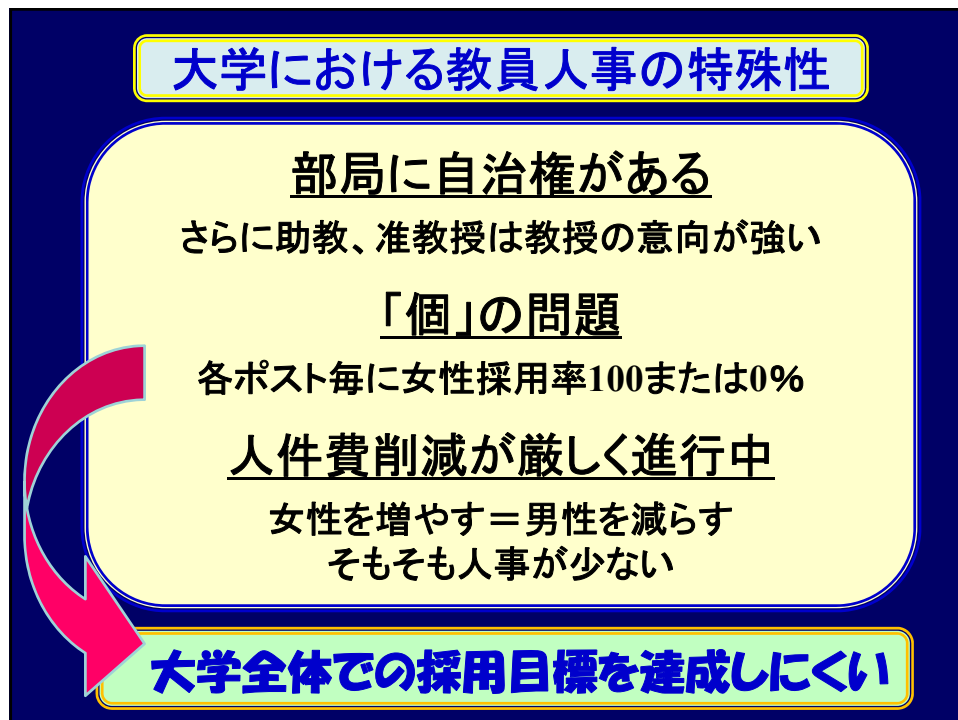
2008年12月8日
 森林総合研究所「応援します！家族責任を持つ女性研究者」
 第2回公開シンポジウム“ワーク・ライフ・システム構築への挑戦”

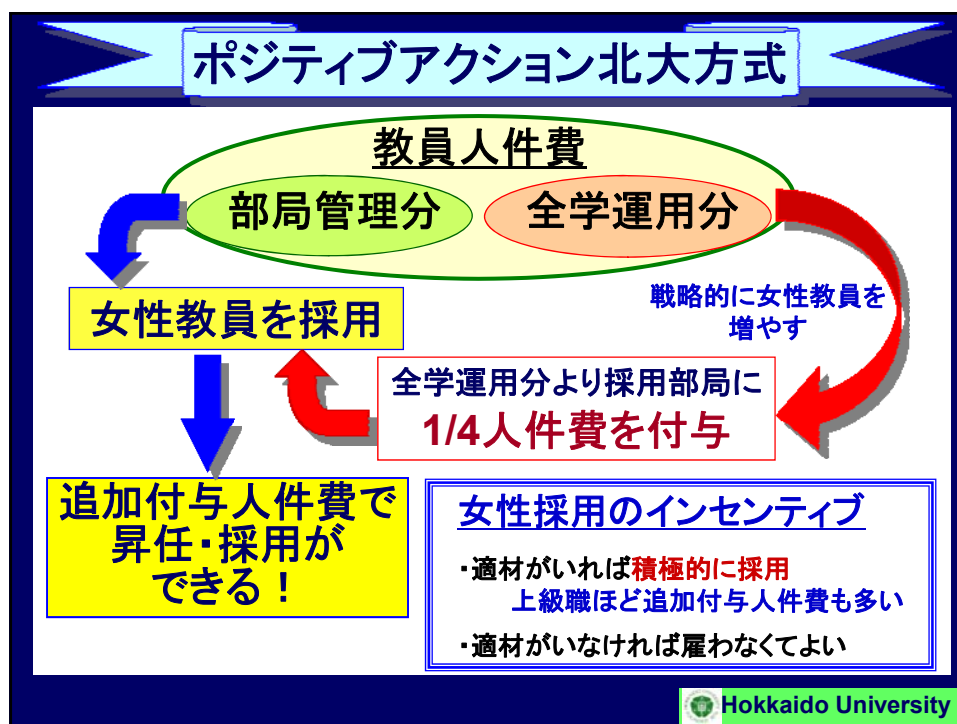
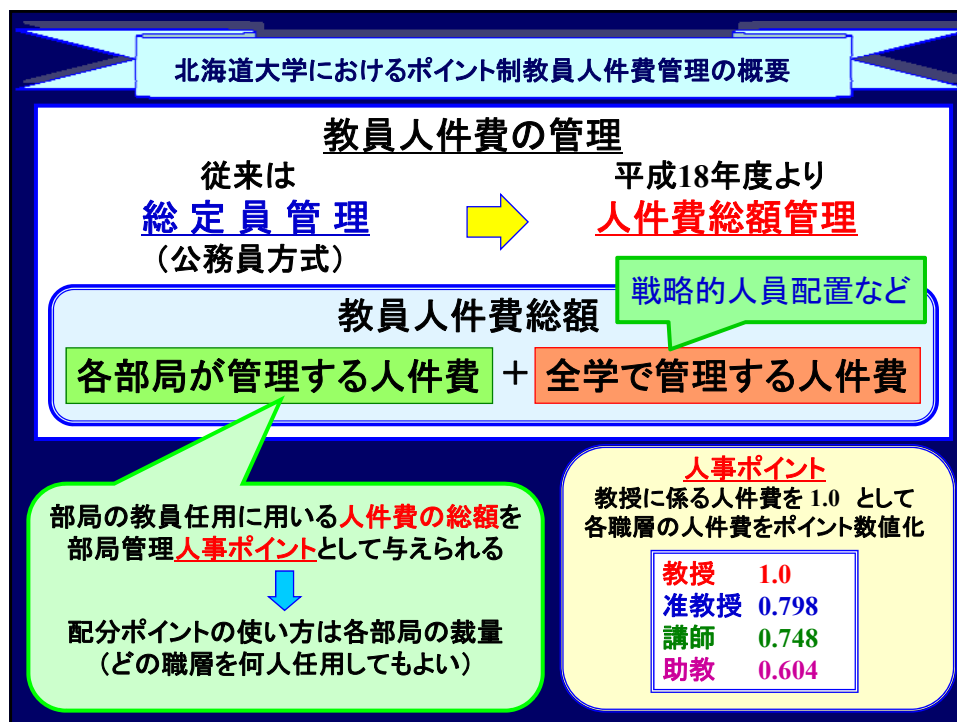
北海道大学 女性研究者支援室長
 有賀 早苗

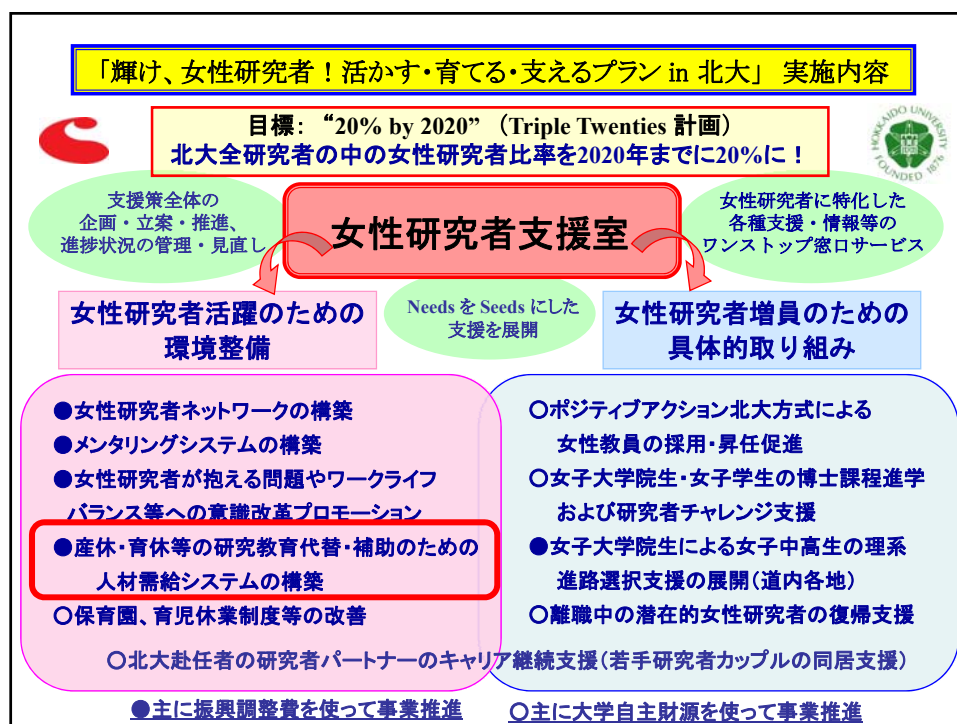
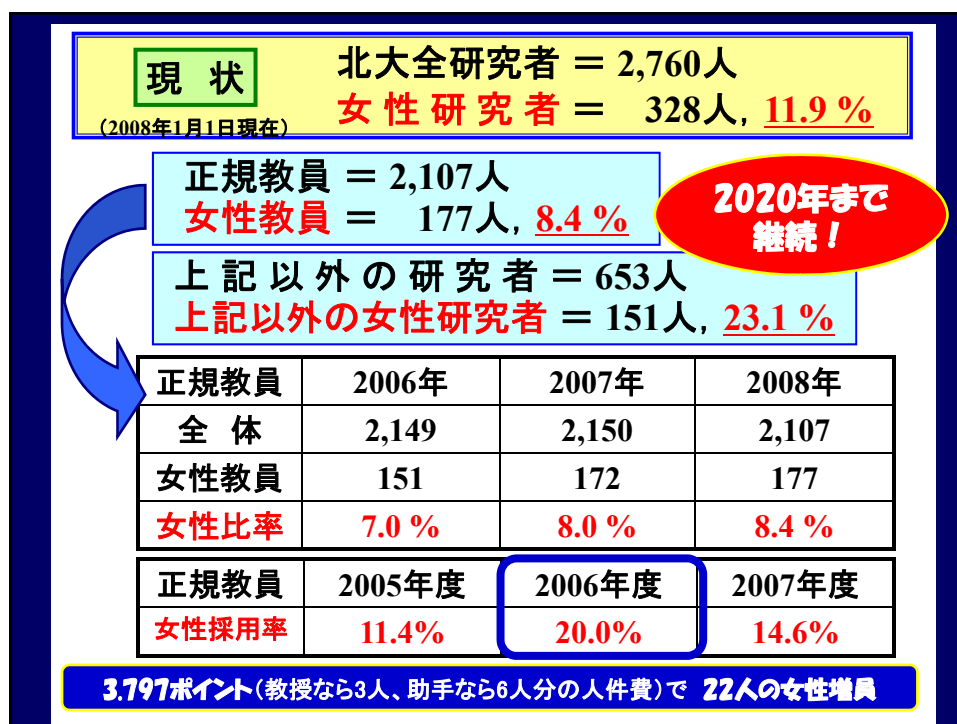

 北海道大学 女性研究者支援室
 Support Office for Female Researchers
 in Hokkaido University











女性研究者・女性教員の出産・育児に際して

◆ 周囲の目

♪ 妊娠中～出産後1年ぐらいは温かく好意的

↓
その後は徐々に冷ややかに...
「もう帰るの?」「また休むの?」
「いつになったらちゃんと働けるのか?」

♪ フェミニストを自認するボス達は男性に厳しい

◆ 本人の状況

♪ 産後1年程度で体力的には回復

♪ 子どもの病気・怪我への対応は就学後も不変
保育園より難しい学童期の放課後・長期休暇

♪ 子どもの成長→精神的な支えが必要

➡ 長期戦に備え、持続的な支援と周囲の理解が必要
それぞれのワークライフバランスを尊重できるか?

産休・育休期間等の研究補助人材支援

助成内容

研究補助者を雇用する経費を助成

- 研究補助にのみ携わる学術研究員または技術補助員1名
- 雇用できる期間は当該年度の必要期間・週30時間以内

問題点

- 適当な専門性を有する補助者がなかなか見つからない
首都圏・京阪地区とは異なる地域性に起因する問題
- 大学教員にとって教育・研究は両輪
→ 教育負担への補助・代替は大きな研究支援になる
- 研究者は自分で研究したい
→ 研究に集中できるよう研究外業務への補助が望ましい

産休・育休期間等の研究補助人材支援実施状況

職層	18年度後期			19年度前期			19年度後期			20年度前期		
	産休	育休	その他	産休	育休	その他	産休	育休	その他	産休	育休	その他
教授												
准教授	2	1	1	1		3	1		3			1
講師			1			3			1			1
助教	2	2	2	3	2	4	3	3	3	3	5	4
P D				1		1			1	1		2
小計	4	3	4	5	2	11	4	3	8	4	5	8
計	11			18			15			17		

- 本人のキャリア継続・キャリアアップのためだけではない
- 所属する部局・ラボ・研究グループへの配慮

↓ 意識改革だけでは追いつかない部分の解消が必要
(懸念・不安や現実的な不利益)

ポジティブ
アクションの
前提条件

女性教員を安心して採用できる環境の整備
(組織としての受け入れ環境)

→ 総長裁量経費で継続実施

任期付き教員の出産・育児にかかる任期延長

平成 19 年度より新規採用の助教（助手）は任期付き

任期＝5年

法学研究科：2年
文学研究科：3年

5年任期の場合

- 任期満了まで>6ヶ月：2年まで延長申請可能
 - ・任期中 1 回のみ
 - ・とりあえず女性のみ
- 任期満了まで<6ヶ月：延長不可

母さんの「か」は 科学者の「か」

子ども達の目から見た女性科学者

Summer Camp in Hokkaido, 2008



☆期間: 2008年8月4日(月)～6日(水)

☆場所: ニセコマウンテンリゾート グラン・ヒラフ

宿泊: ホテルニセコアルペン(北海道虻田郡倶知安町)

女性科学者を母にもつ子ども達同士、本音で語り合う
「母さんが科学者って、どうよ？」

夏の北海道で雄大な自然を楽しみながら、
不満や要望、得したこと・損したこと、
嬉しいこと・悲しいこと・寂しかったこと等、
共有してみませんか？

Mother Scientist

女性の社会進出・活躍が促進される一方で、
子ども達は何を思い何を感じているのか、
科学者という特異な職業をもつ母親に対する意見の中から、
よりよい男女共同参画社会のあり方を考えてみたいと思います。

Research
Family Life
Kids



◆主催: 北海道大学女性研究者支援室FResHU (<http://freshu.ist.hokudai.ac.jp>)
◆お問い合わせ: freshu@jimuhokudai.ac.jp / (011) 706-3625

「輝け、女性研究者！活かす・育てる・支えるプラン in 北大」実施内容



目標: “20% by 2020” (Triple Twenties 計画)

北大全研究者の中の女性研究者比率を2020年までに20%に！



支援策全体の
企画・立案・推進、
進捗状況の管理・見直し

女性研究者支援室

女性研究者に特化した
各種支援・情報等の
ワンストップ窓口サービス

女性研究者活躍のための
環境整備

NeedsをSeedsにした
支援を展開

女性研究者増員のための
具体的取り組み

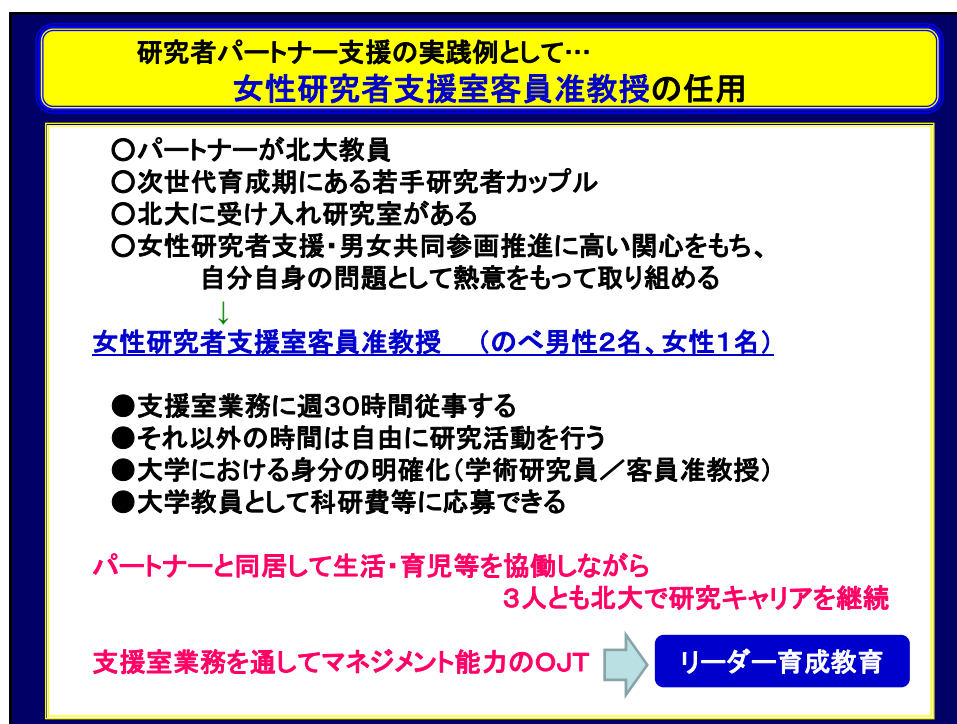
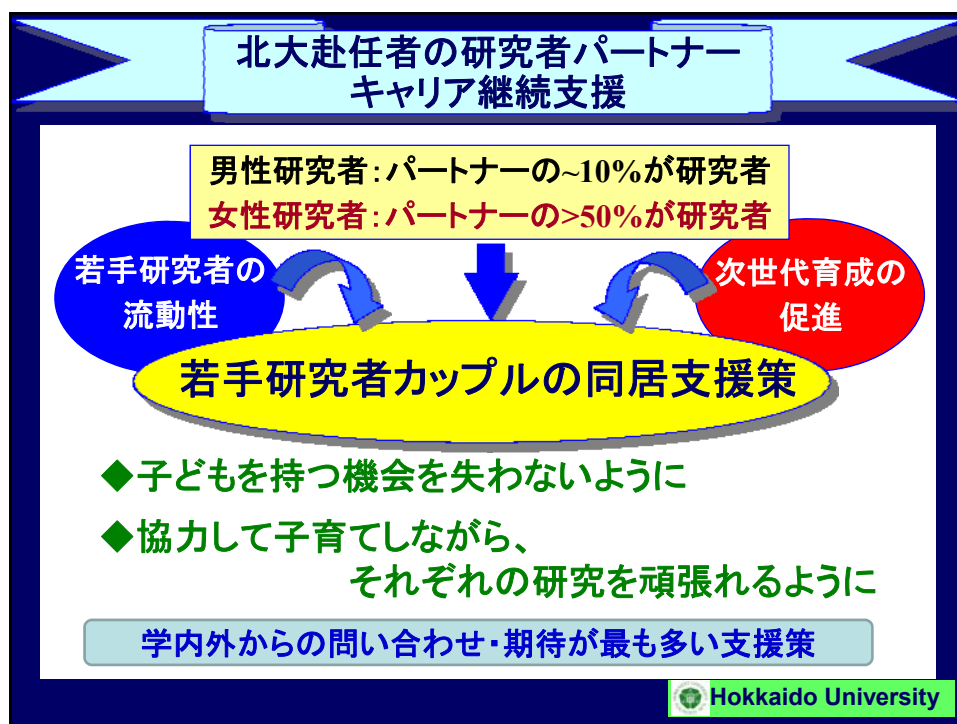
- 女性研究者ネットワークの構築
- メンタリングシステムの構築
- 女性研究者が抱える問題やワークライフ
バランス等への意識改革プロモーション
- 産休・育休等の研究教育代替・補助のための
人材需給システムの構築
- 保育園、育児休業制度等の改善

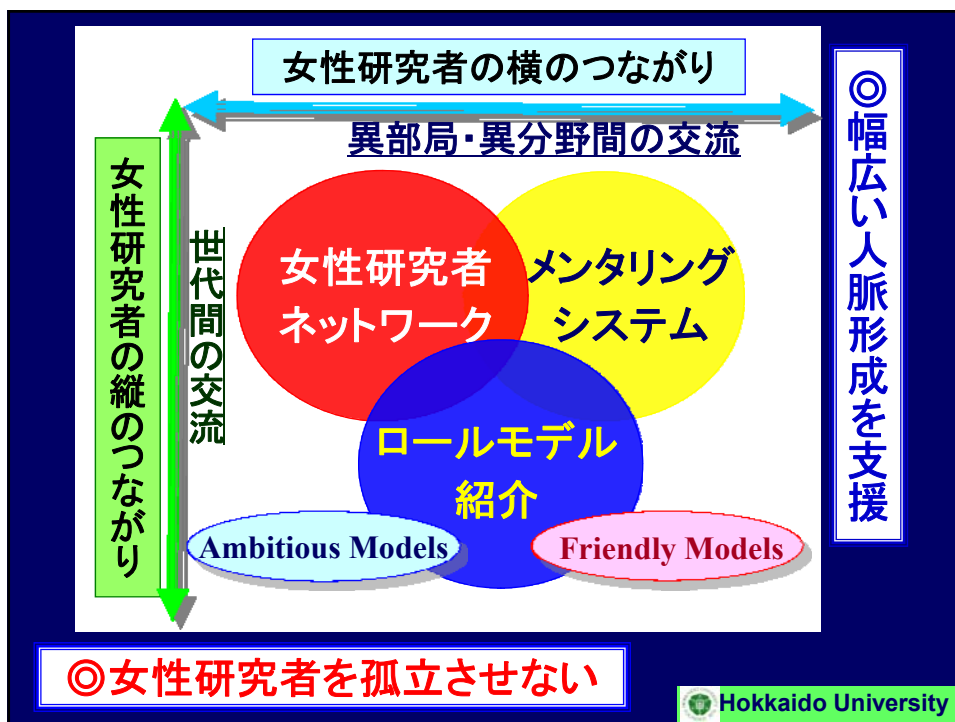
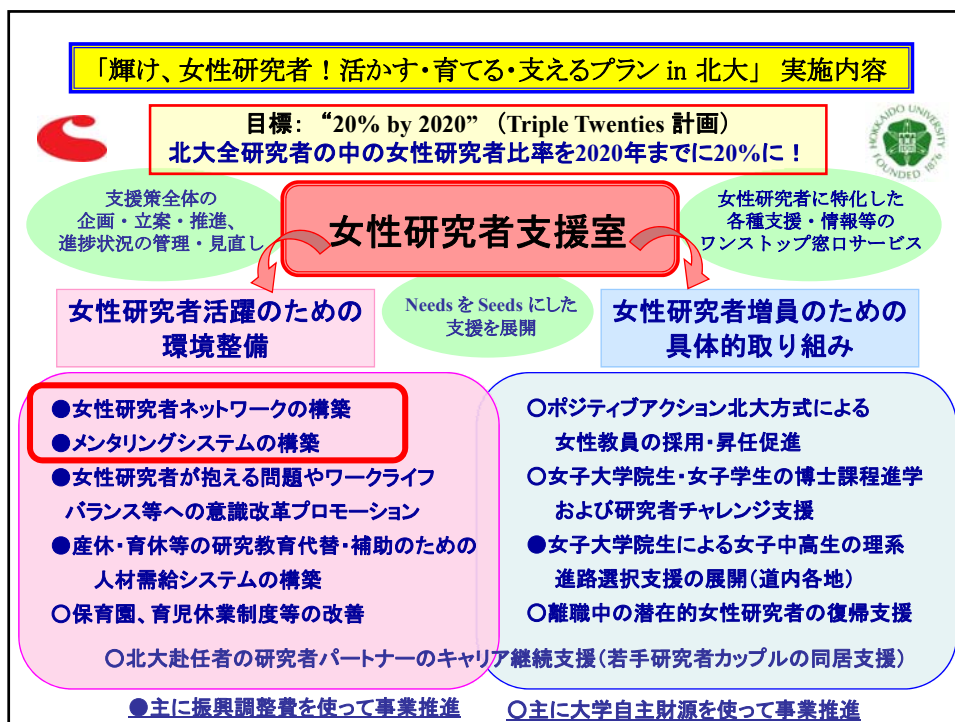
- ポジティブアクション北大方式による
女性教員の採用・昇任促進
- 女子大学院生・女子学生の博士課程進学
および研究者チャレンジ支援
- 女子大学院生による女子中高生の理系
進路選択支援の展開(道内各地)
- 離職中の潜在的な女性研究者の復帰支援

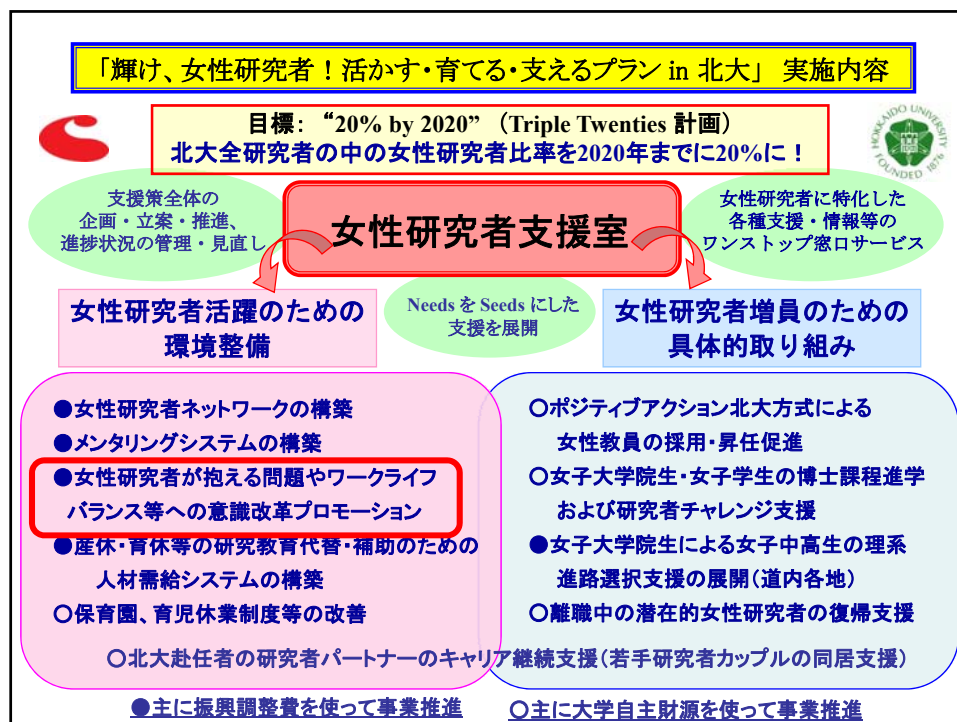
○北大赴任者の研究者パートナーのキャリア継続支援(若手研究者カップルの同居支援)

●主に振興調整費を使って事業推進

○主に大学自主財源を使って事業推進







北海道大学女性研究者支援室
開設記念シンポジウム

北海道大学学術交流会館小講堂にて

7/25 TUE
14:00-16:00
入場無料
(当日受付可)

FResHU
[fref ju]

北海道大学 女性研究者支援室
Support Office for Female Researchers
in Hokkaido University

主権：北海道大学

ワークライフバランスとプロ意識

October 10 (Wed) 2:30 p.m.

Program

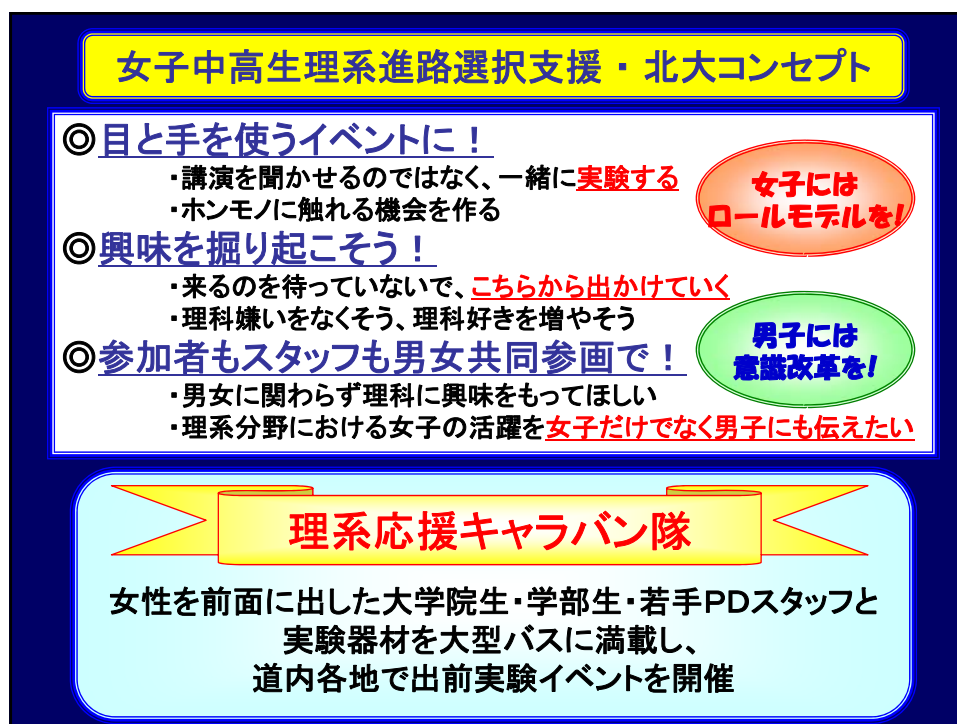
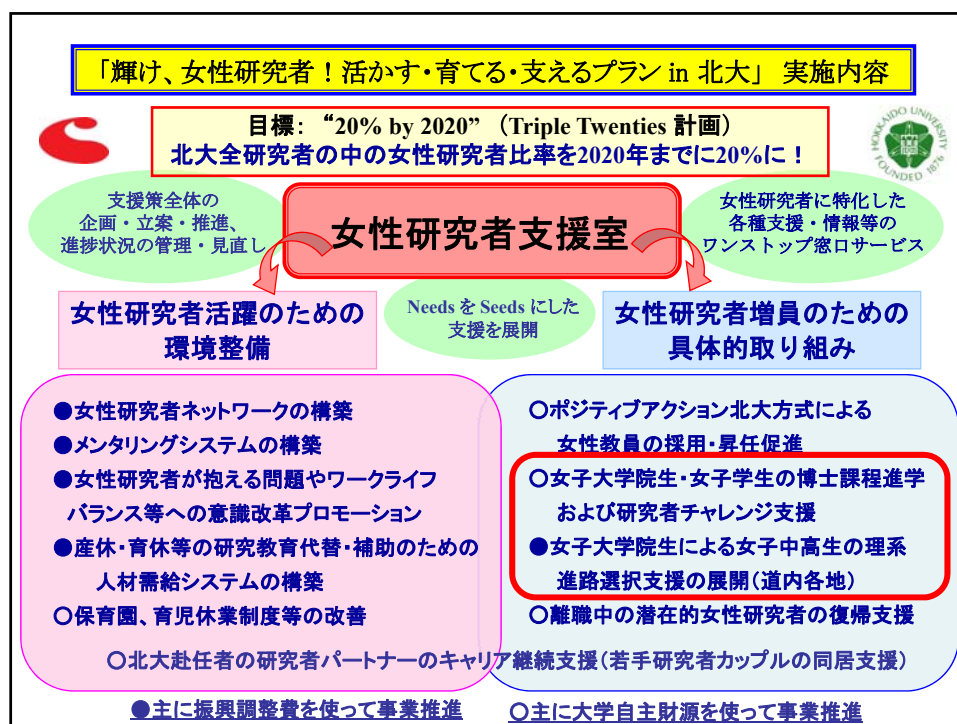
<p>【第1部】</p> <p>主催者挨拶 林 田行 (北海道大学学術部)</p> <p>1. 主催者挨拶 中村 隆男 (プロジェクト総務部長、北海道大学学術部)</p> <p>2. 来賓挨拶 高橋はるみ (北海道知事)</p> <p>田中 正樹 (文部科学省研究開発 学術政策推進課長補佐)</p> <p>3. プロジェクト紹介 有賀 早苗 (北海道大学女性研究推進室長、北海道大学学術部)</p> <p>4. 特別講演 河村 薫子 (山形大学専門学術院教授、北海道大学大学院経営学研究所教授)</p> <p>土井美和子 (東京大学国際センター・コミュニケーション・リサーチ・センター)</p> <p>5. 北大女性研究者ショートレポート</p> <p>小嶋香代子 (北海道大学大学院経営学研究所 助教授)</p> <p>後藤 理恵 (北海道大学大学院経営学研究所 学務研究員)</p> <p>矢野 理香 (北海道大学学術部 講師)</p> <p>黒岩 真里 (北海道大学経営学研究所研究員 講師)</p>	<p>【第2部】</p> <p>特別講演 上野孝雄 (ICPエニスト・新学博士、札幌医科大学特別助産師長)</p> <p>北海道大学学術部 女性研究推進室長 有賀早苗 (北海道大学学術部、女性研究推進室長)</p> <p>特別講演 飯島久美子 (内閣府公共政策推進課「大学における男女共同参画の推進」)</p> <p>北大女性研究者ショートレポート</p> <p>成沢礼子 (大学学術研究部 特任准教授)</p> <p>飯島久美子 (大学学術研究部 助教授)</p> <p>飯田由子 (大学学術研究部 助教授)</p> <p>林 真紀 (女性研究推進室 専任准教授)</p>
--	---

2007年10月10日 (水) 14:30-17:00

会場：【第1部】北海道大学学術交流会館小講堂
【第2部】北海道大学ファカルティハウス
エニスト

主 催：北海道大学
連絡先：北海道大学女性研究推進室 (FResHU)
011-726-3423 freshu@fres.hokudai.ac.jp

<http://freshu.list.hokudai.ac.jp/>



FRsHU 2007.8.24-25 帯広シリーズ

総勢70名を超える院生・学生・PD・教員が
多様な11ブースを出展、
600名の中高生、100名の一般市民が参加



会場案内図

出展ブース紹介

**女子中高生の
理系進路
選択支援**

↔


**女子大学院生など
若手スタッフへの
研究者チャレンジ支援**

- ◆ 科学技術コミュニケーションの実践
- ◆ 部局・分野を超えた若手の交流
実体のあるネットワーク形成
多様な人材のインキュベーション
- ◆ 研究の担い手としての自覚

**双方向性の支援活動による
人材育成の場・機会**

+

**大学の広報と
アウトリーチ**



女性研究者支援は 必要？ 正当？

女性が極端に少ないのは
確かに 妙 ですが...

女性の参加が増えることで科学は進歩するのか？

女性研究者支援は必要？ 正当？

国策としての女性研究者支援の原動力は少子・高齢化

◇ 出産・育児等の負荷がかかると...

- 就労(研究)時間はどうしても減る
 - 足りない分は補助員を雇って補う？
 - 働きの少ない人の穴埋めにお金をかけ
 - あたかもちゃんと働いたように見せかける？
- 早めに帰宅しなくてはならない
 - 定時退勤や適正なワークライフバランスの奨励？
 - 働かない人(働けない人)が目立たないように
 - 皆で働かないことにする？

◇ 女性の参加が増えることで科学は進歩するのか？

多様な発想・視点？

高等教育を施した人的資源として女性も無駄なく活用？

女性研究者キャリアのSustainabilityは国際的な共通課題

FResHU International Symposium
"Sustainable Should Be Female Scientists' Career!"
Improvement of the sustainability for female scientists by making their academic careers with a long-term vision in order of balancing life goals, such as marriage, childbirth, career and raising children, will be discussed from the viewpoint of gender equality and work-life balance.

Date: July 10 - 12, 2008 **Registration: required**
Place: Hokkaido University **Charge: free**

Programme

- * Keynote Speeches & Panel Discussions *
- Positive/Affirmative Action - Acceptable or Unacceptable?
- Beyond Glass Ceiling - Cheer Up & Career Up!
- Boys Be Integrated - Substantial Partnership
- Work Life Balance: Dual Career & Life of Academic Couples
- Encourage Next Generations in Science
- * Poster Exhibition of the Leading Programs of Female Researchers in Japan *

Speakers to be invited

- * Special Lecture *
- Kuniko Inoguchi / 井口 節子 (日本)
- Professor, Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology
- * Speakers *
- Alice Hogan / 阿部 昭子 (英国)
- Senior Lecturer, School of Life Sciences, University of Sussex
- Hisako Ohtsubo / 大津 久子 (日本)
- Professor, Institute of Chemistry, University of Tokyo
- Dominique Soldati-Favre / 佐藤 亜矢子 (スイス)
- University of Geneva
- Marl Jibu / 堀部 昌子 (日本)
- Senior Lecturer, School of Life Sciences, University of Sussex
- Maya Widmer / 渡辺 真由美 (スイス)
- Professor, School of Life Sciences, University of Sussex
- Mariko Ogawa / 小川 昌子 (日本)
- Professor, School of Life Sciences, University of Sussex
- Thierry Soldati / 佐藤 亜矢子 (スイス)
- University of Geneva
- Philipp Gebhardt / ゲルハルト フィリップ (ドイツ)
- Professor, School of Life Sciences, University of Sussex
- * Host Speakers *
- Kenta Ogawa / 小川 健太 (日本)
- Hokkaido University
- Maki Tanii / 谷口 真紀 (日本)
- Hokkaido University
- Sanae Ariga / 荒井 真枝 (日本)
- Hokkaido University

FResHU

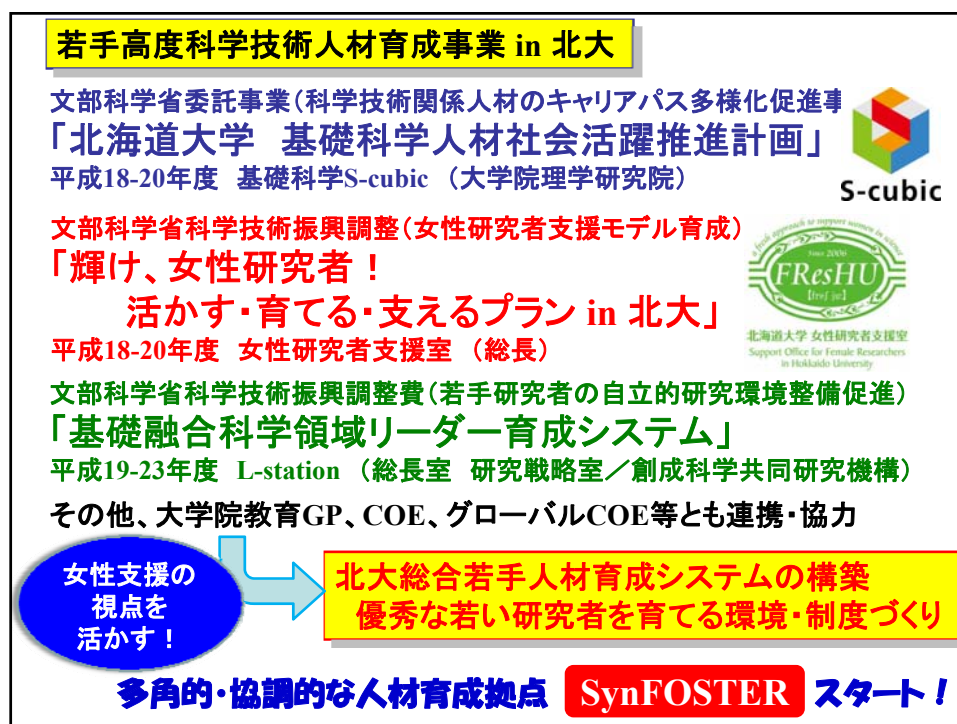
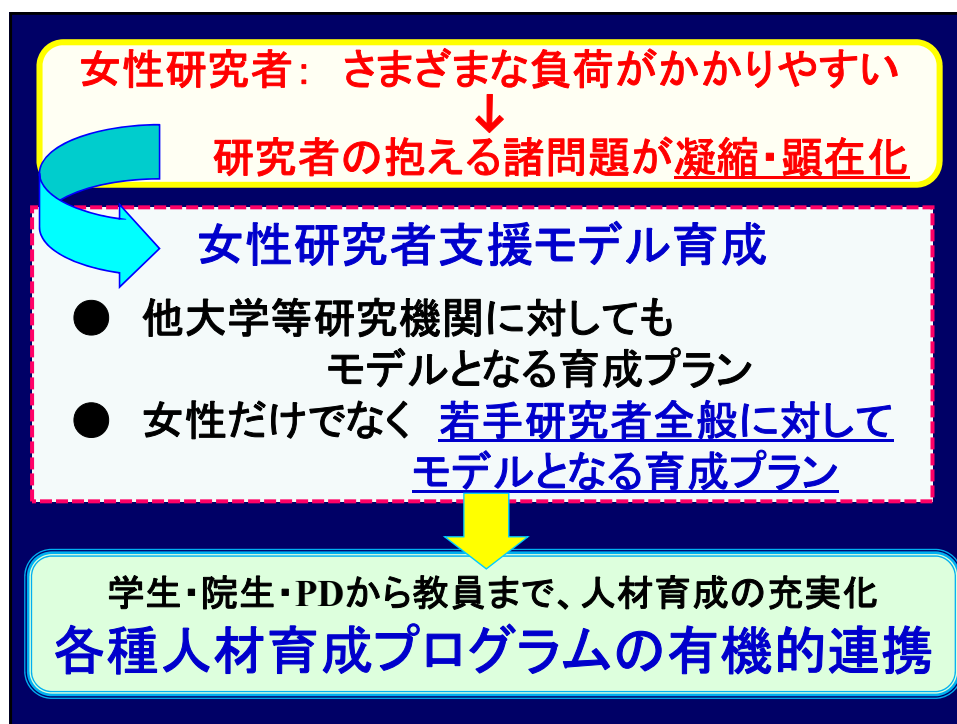
Registration: 1000 yen (incl. lunch) 4000 yen (incl. lunch & accommodation) Research & Education Scholarship: up to 10000 yen (incl. lunch & accommodation) For application, visit: www.freshu.org For application, visit: www.freshu.org For application, visit: www.freshu.org

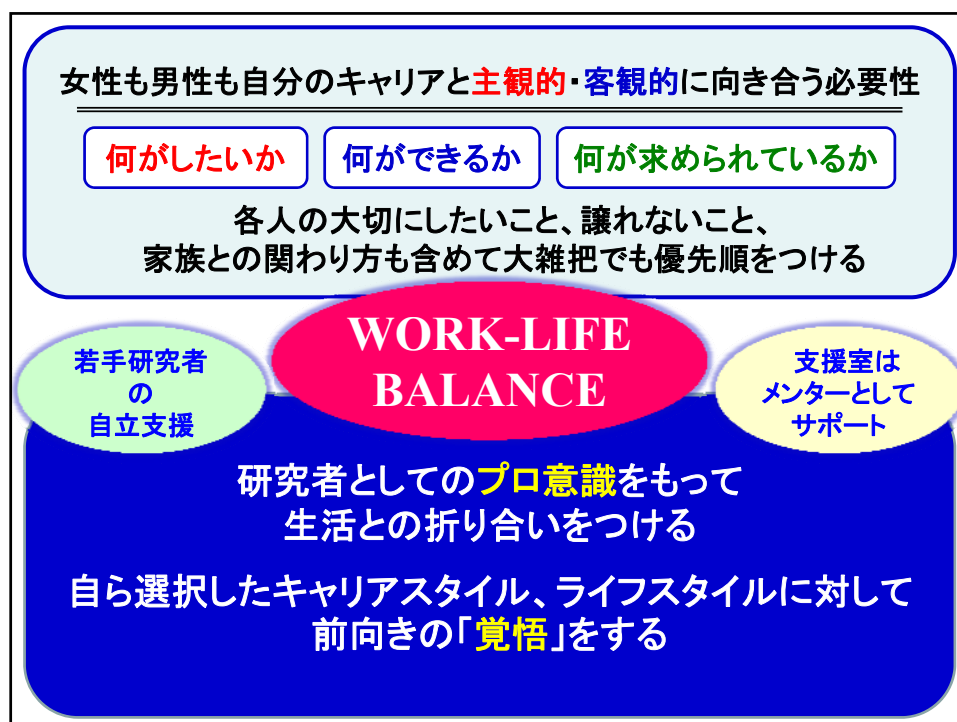
優秀な若手研究者・学生が集まる
魅力的な研究・教育の場とは...


- 研究設備が整っている
- 大学としてアクティブで刺激的な研究環境にある
 - ・優秀なシニア研究者がたくさんいる
 - ・異分野交流が盛んである
- 人材育成プログラムを活用してスキルアップできる
 - ・多様なキャリアパスを目指せる
 - ・自分を活かす道・場所を見つけられる
- ワークライフバランスを整えやすい
 - ・生活環境、育児環境が整っている
- パートナーの就職先(特に研究ポスト)がある



女性研究者が活躍環境が整っているところ！







初の研究者向けキャリア教材

女性研究者だけでなく
PDやDCたちに

・キャリア意識を持ってほしい

・自分と向き合ってほしい

諦めたり
ドロップアウトするためだけでなく
前へ進むために
自分を活かすために

メンターと共に考える材料としても
活用

“研究者の人生選んだ”

【朝日新聞 2008年10月31日 科学欄】

それぞれの人生を選択できるよう
応援・支援していきたい

私の選択は個人的なもの。他人に勧めるものではありません。
子どもを育てながら研究を続ける女性もいる。
大切なのは(自分の選択に)責任を持つこと。
それが私の唯一のメッセージです。



Françoise Barré-Sinoussi, PhD
awarded the Nobel Prize in Physiology or Medicine for 2008
(the 12th Female Nobel Prize Winner in Natural Science)

前進・継続する覚悟、
産み育てる勇気・責任を持って、

Girls & Boys Be Ambitious!

**No Quality
Without Equality**

*Girls & Boys
Be Cheered & Happy!!*



北海道大学 女性研究者支援室
Support Office for Female Researchers
in Hokkaido University

共同参画から協同社会へ

男女共同参画／Gender Equality

共同：互いに同じ立場・資格に立って力を合わせる事
◆立場・資格の平等にやや重きを置いている

協同：同じ目的や利益のために、複数の個人や団体が
心や力を合わせて事にあたる
◆協力という観点を大切にしている

協 → 多様な力の結集による
豊かな発想・新たな展開で
持続的发展を！

女性研究者支援から見えてきた ワークライフバランスとプロ意識

- ◆活かす覚悟： **研究機関**
所属する人材を最大限引き出す工夫
- ◆育つ覚悟： **研究者**
自分の能力を最大限発揮する努力
- ◆支える覚悟： **“官”**（国、文科省等）
プロジェクト・機関・人への不退転の投資

 **協同して科学技術創造立国を実現！**

振興調整費事業の終了

=

女性研究者支援の終了

お試し期間
(試供品・オープン記念特価)

女性研究者支援の本格スタート！

本当に必要なことを自腹で長期間継続する覚悟が必要

振興調整費事業終了後(平成21年4月～)の
北大女性研究者支援活動実施計画

【継続実施を決定】

- ◆女性研究者支援室 FResHU: 人材育成新組織SynFOSTERと協働
- ◆女性教員採用へのポジティブアクション: 昇任にも適用へ
- ◆産休・育休等期間への研究補助員の配置: 教育・事務負担補助も
- ◆病児保育システム: 事業所内保育所の新設も

【継続に向けて検討中】

- ◆研究者パートナーのキャリア継続支援
- ◆女子中高生の理系進路選択支援

【活動財源】

- ◆一般運営財源(正規事務職員の配置、広報等)
- ◆総長裁量経費
- ◆他事業・新規事業への応募



北海道大学 女性研究者支援室
Support Office for Female Researchers
in Hokkaido University